

令和7年度 学校経営の基本計画

栃木市立吹上小学校

◎ 栃木市学校教育の重点

人生の礎となる生きる力の育成

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 共生社会を形成する豊かな心の育成 | 2 児童生徒指導の充実 |
| 3 確かな学力と健やかな体の育成 | 4 グローバル教育の推進 |
| 5 ふるさとを生かした学習の充実 | 6 学校・地域における教育環境の整備 |
| 7 教職員の資質・能力の向上 | |

○ 吹上ブロック小中一貫教育の目指す子ども像

- 意欲的に学ぶ子ども
 - 自他を認め合い思いやりのある子ども
 - 心身ともにたくましい子ども
- ふるさとを愛着と誇りを持つ子ども—

1 学校教育目標

心をつなぎ明日に夢を実らせる

- 心のあたたかい子
- 考え実践する子
- 体も心もたくましい子

2 学校経営方針・学校経営目標

- 「生命・人権の尊重」をすべての教育活動の基盤として、子どもと歩み、子どもと学び合う、いきいきとした学校づくりに努める。 (心の成長の保証)
- 子どもが学びたい、保護者が子どもを通させたい、教職員が勤務したいと思う、夢や希望がもてる学校づくりに努める。 (確かな学力の保証)
- 危機管理意識や対応能力を高め、安全・安心な学校づくりに努める。 (健康・安全の保証)
- 家庭や地域と連携し、子どもたちのよりよい成長のために、惜しみない努力をする。 (地域とともにある信頼される学校づくり)

3 目指す子ども像

- あたたかく、豊かな心をもった子ども
- 確かな学力を身に付けた子ども
- 健やかな心身をもち、命を大切に生活する子ども

4 目指す学校像

「地域に根ざした信頼される学校」 —「チーム吹上」で育もう！ 築き上げよう！—

5 目指す教職員像

- 子どもや保護者、地域から信頼される教職員
- 誠実で人間性豊かな教職員
- 教育的愛情と使命感のある教職員

- 自己研修に努め、確かな授業力・指導力のある教職員
- 同僚性を基盤として、協働・参画する教職員

6 経営目標達成の方策

(1) 心の成長の保証のために

- ① 生命・人権を尊重し、一人一人が互いを認め合う学級経営を行う。
 - ・ 山本有三の精神に学ぶ心の教育の充実
 - ・ 人権感覚を磨き、人権意識を高め、いじめを許さない集団の育成（学級活動、人権週間、教育相談等）
 - ・ 互いを認め合う児童の育成（認め合う学級づくり、LGBTQ関連の授業実践、特別活動の充実）
 - ・ 自己肯定感を高める居がいのある学級集団づくり（自己有用感の育成、学業指導・学級活動の充実）
- ② 道徳科の時間を要として、教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。
 - ・ 本校道徳教育の重点「自他の生命尊重の精神・善悪の判断力・規範意識・人を思いやる温かい心」の育成を目指した指導の充実
 - ・ 自分を見つめ、話し合い、自分の生き方について考えを深める授業の実践
- ③ 児童理解と支援に努め、児童指導の充実を図る。
 - ・ 児童の特性や思い、悩み、背景等の把握・理解と全教職員での共有（観察・教育相談等）
 - ・ 問題早期解決のための迅速な指導・支援と経過の共有、指導の継続（児童指導委員会、ケース会議等）
 - ・ 魅力ある学級づくりと登校支援の充実（学級経営の充実、不登校対策委員会、登校支援個別対応チーム等）
- ④ 目標をもち、実現に向けて努力する意欲と態度を育成する。
 - ・ 目標をもたせ、達成に向けた努力に対する称賛や継続支援
 - ・ 進んで働く子の育成（清掃・当番活動）
 - ・ 主体的に活動する子の育成（係活動・委員会活動・各種行事）
- ⑤ 明るいあいさつと読書の習慣化を図る。
 - ・ あいさつ運動の推進（児童会による活動・教職員による指導・支援、地域・保護者との連携）
 - ・ 読書への関心を高める工夫（課題図書の読破推奨・校内読書週間の実施）
 - ・ 朝の読書タイムと読み聞かせの推進（とちぎ未来アシストネットの活用）
 - ・ 「うちどくの日」による家庭での読書習慣育成と団欒の奨励

(2) 確かな学力の保証のために

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、学ぶ楽しさを実感できる授業、安心感のある分かれる授業を実践する。
 - ・ 毎時間の授業のねらいの明確化と振り返りによる学びの深化（「とち介の学び」の実践）
 - ・ 問題解決的な学習や体験的な学習の充実
 - ・ 実態の把握と個に応じた支援、環境づくり（特別支援教育・学びのUD化）
 - ・ ICT（タブレット端末）等を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実
 - ・ 「学習のやくそく」の共通理解と学びに向かう集団づくり（学業指導）
 - ・ 基礎・基本の定着（チャレンジテストの実施、チャレンジタイムの充実）
- ② 学力向上のために指導力を向上する。
 - ・ 学校課題研究や一人一授業等の実践をとおした授業研究
 - ・ 全教職員による、各種調査結果を踏まえた学校課題研究推進プランの作成と実践、振り返り

- ・ 吹上ブロック小中一貫教育における課題解決に向けた取組
 - ・ 自らの授業の振り返りと各種研修への積極的参加
- ③ グローバル教育への理解を深め、実践する。
- ・ グローバル教育プログラムの確実な実践と次年度に向けた振り返り
 - ・ 「ふるさと学習」の計画的・系統的な学習の実践
(地域素材・地域人材の活用：とちぎ未来アシストネット、地域・家庭との連携)
 - ・ 外国語活動・外国語科の授業におけるコミュニケーション活動の充実
- ④ 家庭学習の習慣化を図る。
- ・ 家庭学習強調週間の実施と家庭学習の記録の活用（発達段階に応じた自主学習の推奨）
 - ・ 家庭学習の内容や時間の具体的な指導（家庭学習の手引きの活用・家庭との連携）

(3) 健康・安全の保証のために

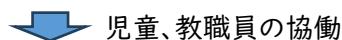
- ① 自分の命を自分で守るため、主体的に行動する態度を育成する。
- ・ 交通事故ゼロを目指した交通安全教育の徹底（交通安全教室）
 - ・ 登校・下校指導の充実（不審者対応指導・一斉下校時の振り返り・地域の協力）
 - ・ 防災教育の充実（避難訓練・引き渡し訓練・地域や家庭との連携）
 - ・ 基本的な感染症対策の徹底と継続（手洗い・うがい・換気など）
- ② 健康教育を推進するとともに、体力の向上を図る。
- ・ 保健指導の充実と衛生的な生活の習慣化
 - ・ 楽しく活動量のある体育の授業の実践
 - ・ 体育的行事等を通した体力の向上
- ③ 食育を推進する。
- ・ 食に関する年間指導計画に基づく指導の充実
 - ・ 給食指導を通した栄養バランスの取れた食事の推奨（給食週間の実施）
 - ・ 農作物の栽培や収穫活動等を通した、食に関する意識の高揚

(4) 地域とともにある信頼される学校づくりの推進

- ① 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりを推進する。
- ・ 学校運営協議会の計画的実施と連携・協力（コミュニティ・スクールの推進）
 - ・ 学校公開の推進（授業参観、ファミリー参観、PTA親子ふれあい活動、各種行事等）
 - ・ 学校の各種たよりの配付やホームページの更新による情報提供、各種啓発
 - ・ PTA活動における保護者との連携・協働
- ② 地域に根ざした一貫性のある教育を推進する。
- ・ 吹上ブロック小中一貫教育の「目指す子ども像」の実現に向けた指導の充実
 - ・ 小中一貫教育の正しい理解に基づいた主体的な取組
 - ・ 幼保・小・中の交流学習の実施

◎ 子どもたちに身に付けさせたい3つの力

	低学年（身に付けよう：定着期）	中学年（伸ばそう：充実期）	高学年（広げよう：拡充期）
命	室内外で安全に生活できる力	自分の命を自分で守る力	自分たちの命を自分たちで守る力
挨拶	元気なあいさつや返事ができる力	進んであいさつをする力	進んであいさつを交わす力
表現	相手の話を最後まで聞く力	自分の考えや思いを伝える力	お互いの考えや思いを伝え合う力



児童、教職員の協働

「笑顔あふれる吹上小」の実現